



夢に向かえ！

「夢の実現」「開拓者精神の継承」

令和8年9月15日
南大東村立南大東小中学校
学校だより 9月
第13号

島は人生の根っこ～TACKさん(シン/オドシ)講演会



9月11日(金)SDGs「島に誇りをもち、住み続けられるまちづくり」をテーマの一環で、本校出身のミュージシャン、シン/オドシのTACKさんを招いて講演会がありました。

講話では、小中学校時代の話や音楽が夢になった瞬間の話など、TACKさん自身がこの島で育んだ経験や感じた事など、島の子ども達にも共感できるような話がありました。

【夢や勉強について】

「夢は人によって様々。目立つ物だけが夢ではなく、何でもいい。慌てなくてもきっと見つかる。急がずに好きなことを見つけて、好きなことを突き詰めると、好きなことを実現するために必要な勉強が好きになった。歌詞を作るために国語を勉強するようになり、歌詞に英語を使うために英語も勉強するようになった。昔のことを知るために歴史を知りたくなった。『好きなこと』を追い求めると、興味なかった勉強さえも、興味をわかせてくれる。この自分の経験したことは、皆の力になればいいなあと思う。」

【南大東島について】

「『おかえり』と言ってくれるのが、嬉しい、島全体が「おかえり」といってくれている気持ちになる。幼なじみは家族。島を離れても、この島はあなた達を守ってくれる。辛いときはいつでも帰ってきてほしい。島はいつでも、いつまでも、あなたたち皆の味方だからね。」



【15歳の島立ちについて】

「俺にとって、この島で過ごした15年は人生の根っこになっている。だから、あなた達にとっても、島の15年はかけがえのない時。今は『南大東島には何もない』と思っているだろうが、島を出て将来、めちゃくちゃ良い日々だったと思う将来が必ず来る。だから南大東島で過ごしている日々はスペシャルだと思って過ごしてほしい。」

末吉璃心さん(中3)

「南大東は家族」本当にそうだなと思った。今島にいる間に地域の方に感謝することやクラスの友を残りに少ない時間大切にしていきたいと思った。めちゃ心に響いた！

大城 優愛(中3)

今はこの島を早く出たいと想いがあるけど、島は背中を押してくれる大切なもだと感じた。島には島ならではの人の温かさがる事に気づくことができた。

